

第2回園田豊穣まつり

地場農産物の出来栄え祝う

10月30日、角館町園田の釣田会館を会場に、園田豊穣まつりが行われました。

会館内には、地場農産物品評会に出品された地元の農産物や工芸品が並べられ、来場者がその出来栄えに感心しながら、購入の予約をする姿が見られました。

屋外では地元産のそばやうどんなどの販売が行われたほか、餅つきも行われ、臼と杵でついたお餅が会場の皆さんに振る舞われました。



会場内に並べられた農産物等



地元産のそばやうどんなども販売

話

武家屋敷周辺クリーンアップ
紅葉シーズン 町をきれいに！

紅葉シーズンに合わせ、町をきれいにし観光客を迎えようと、10月21日、武家屋敷周辺のクリーンアップが行われました。

このクリーンアップは角館町観光協会と角館伝建群地区の町並みを守る会が呼びかけ、約80人が参加し、軽トラック1台分となる落ち葉約260キログラムが集められました。



話

(社)仙北市シルバー人材センターのボランティア活動
松木内川堤の桜胴吹枝除去

を、会員の方々約30人で作業を行いました。



(社)仙北市シルバー人材センターでは、地域社会への貢献を実現する方策の一環として、また、センターの存在を広く地域社会に周知する普及啓発活動を兼ねて、各地域の公共施設等の清掃・除草・植木の冬囲いなど、ボランティア活動を組織的に実施しています。

10月27日の秋晴れのもと、松木内川堤左岸の桜の保護保存に重要な胴吹枝の除去作業

話

平成23年度全国自作視聴覚教材コンクール
仙北若者会議制作作品 入選

高校生から30代までの約20人で構成され活動している仙北若者会議により制作されたDVD「小田野直武・源内・玄白が認めた男」が、平成23年度全国自作視聴覚教材コンクールで入選し、10月27日市役所を訪れ、門脇市長に受賞を報告しました。

地域ににぎわいを創設しようと制作したこのDVDは、解体新書を描いたふるさとの偉人、小田野直武について知り、市と直武ゆかりの地を紹介



介する内容で、コンクールでは「解体新書の挿絵を描いた人物について地元でもよく知られてはいない。この作品がその掘り起こしにつながる」と評価されています。

話

遊々楽々3トピア会議
ふるさと秋田農林水産大賞、農林水産大臣賞受賞

10月26日に秋田市のホテルで行われた「秋田県食料自給力向上フォーラム2011」の中で、ふるさと秋田農林水産大賞の表彰式が行われました。

農山漁村活性化部門の大賞を、仙北市でそばの郷づくりを目指している仙北市遊々楽々3トピア会議が受賞。併せて農林水産大臣賞も受賞しました。会議を構成する皆さんの地域活性化への取り組みが高く評価されました。



仙北市遊々楽々3トピア会議の沢山会長(写真右)と荒木田副会長(写真中央)に市役所を訪れた受賞の報告

話

平成23年度秋田県優良技能者
佐藤正美さん受賞

10月31日、秋田市文化会館で行われた秋田県職業能力開発促進大会で、佐藤正美さん(角館)が秋田県優良技能者(木型木工)として秋田県知事表彰を受けました。

佐藤さんは長年にわたり木型工一筋に技能研鑽に努め、木型模型の手作業製作で高精度の優れた技能を持ち、後進技能者の指導育成への尽力などが認められ、今回の表彰となりました。



話

第38回秋田県交通指導隊大会
優良隊員の3人を表彰

10月21日、秋田市文化会館で開催された第38回秋田県交通指導隊大会で、優良隊員として、仙北市から交通指導隊員3人が表彰されました。

表彰式終了後、観閲式を行うため秋田市八橋多目的グラウンドに移動し、隊員の士気高揚を図り大会の幕を閉じました。

表彰者は次のとおりです。(敬称略)



八橋多目的グラウンドでの観閲式

話

長年にわたり人権擁護委員としてご活躍
伊藤和彦さんに法務大臣から感謝状

伊藤和彦さん(田沢湖)は、平成5年7月1日から平成23年9月30日まで人権擁護委員としてご活躍。人権相談や啓



10月31日、市役所角館庁舎で秋田地方務局大曲支局長と大曲人権擁護委員協議会会長から感謝状と記念品が贈呈されました



発活動など、市民の人権を守るためにご尽力されました。

水土里ネット西木の施設見学会
西明寺小学生が「水のはたらき」学ぶ

10月17日、西明寺小学校4年生を対象に、頭首工や上・下水道施設を見学しながら「水のはたらき」について学ぶ施設見学会が、水土里ネットにしき（西木土地改良区理事長・伊藤長三）主催で行われました。

子どもたちは、宮田頭首工、西明寺高区浄水場、西明寺クリーンセンターを見学。各施設で水がどのように使われ、どうやって循環しているかなどの説明を受け、水の大切さや地域の環境について学びました。

子どもたちが書いた見学会の感想文の中から、一つ紹介します。



西明寺クリーンセンター（下水処理場）で施設の役割を学習



宮田頭首工の管理橋から、勢いよく流れる水を見学



川の水を取り入れる取水口。ここにはいろんなゴミが流れてきます

頭首工見学でおどろいた事
四年 蘭藤明香音

わたしが、頭首工見学でおどろいた事は、水を一番使う時の水の量は二、五トンだという事です。一秒にドラムかんが十二分の量だそうなんです。

二つ目は、松木内川と濁尻川の水はともきれいだということです。松木内川と濁尻川にはきれいな水の中でしか住んでいない魚や、川虫などがいるそうです。そんなにきれいだとは知りませんでした。三つ目は、頭首工にも伝説があるという事です。その伝説は人々のために犠牲で人柱にされてしまった「お小夜さん」という人のお話です。とても

悲しいお話でした。四つ目は、頭首工にも発電機があるという事です。その発電機で停電の時に、施設に電気を送るんだそうです。五つ目は、操作盤が自動的に水門の調整操作や水の状態を記録するという事です。だれか人が記録していると思つたらちがいました。六つ目は、管理橋といって施設の点検、整備用の橋の長さが百五メートルあるという事です。そんなに長いと思いませんでした。このように頭首工ではおどろく事がたくさんありました。知らなかった事が、とてもよく分かってよかったです。頭首工見学は、楽しかったですよ。

（原文のとおり）

神代中学校体育文化後援会
発足50周年を祝う

神代中学校体育文化後援会が発足50周年を祝い、10月23日、神代中学校で記念式典が行われました。

在校生徒や来賓が多数参加した式典では、後援会発足の契機となった昭和37年の全県少年野球優勝メンバーである藤川正博氏が、当時を振り返り思い出を語りました。また、石井浩郎氏（参議院議員・元プロ野球選手）の記念講演も行われ、生徒からたくさん質問に答えていました。



仙北市老人クラブ連合会 田沢湖地区老連女性部
老人クラブ文化祭で創作ダンス披露

10月31日に秋田市文化会館で行われた秋田県老人クラブ文化祭で、仙北市老人クラブ田沢湖地区老連女性部が創作ダンスを披露しました。

例年好評を博している田沢湖地区老連女性部の創作ダンスですが、今年は「クニマス発見」をテーマにした創作ダンスを発表。月数回の練習の成果を発揮し歓声を浴びました。



西明寺小学校で義援金
被災地の役に立ちたい

西明寺小学校（高橋智弘校長）の5年生が、産業祭で販売されたネギの収益金を被災地へ届けてほしいと、10月27日に市役所を訪れ、門脇市長に6万9千円を手渡しました。

このネギは、地元農家の佐藤一也さん所有の畑に、5年生の総合学習として植えられ、10月中旬に収穫。その後、産業祭に出展されました。

届けられた義援金は、被災地の小学校に届けられる予定です。



（右）広い畑にネギを植える生徒
（下）収穫も5年生で行いました



角館南高等学校音楽交流会
大曲養護学校との交流深める

音楽を通じて交流を図ろうと、10月19日、角館南高等学校（菅原明雅校長）と、大曲養護学校（西嶋崇広校長）の生徒が交流会を行いました。

角館南高等学校で行われたこの交流会では、大曲養護学校高等部3年生の迫力ある和太鼓の演奏が披露されたあと、角館南高等学校吹奏楽部とインターアクト部の演奏や踊りが行われました。演奏を終えた大曲養護学校の生徒は、「ほかの学校での演奏は初めてで緊張した。南高の演



奏などが堂々として素晴らしかった」と話しました。

たざわこ吹奏楽団
「田沢の郷」で演奏会

10月23日、たざわこ吹奏楽団（田口寿宜団長）による演奏会が、介護老人施設「田沢の郷」で開かれました。日本民謡のメドレーなどの演奏に、皆さんも手拍子を打ちながら、楽しいひとときを過ごしました。

たざわこ吹奏楽団では団員を募集しています。週1回の練習をしながら慰問演奏やチャリティショーなどを行う



10月23日開催
ています。（連絡は090-4049-9502 田口まこ）

せんぼくアートプロジェクト推進事業が支援
チャリティーコンサート開催

震災後、毎週日曜日にアマチュアバンドを集めて「1コイン募金」を行ってきたプロジェクト「osar」(ピース・フォー・ジェイ)の一区切りとも言えるチャリティーコンサートが10月9日、仙北市民会館で行われました。

山形、岩手、宮城など県外からの参加者も含めて14組が一堂に会して会場を盛り上

げ、観客はしつとりと聞き入っていました。

「表面的な復興だけでも相当地な年月がかかるはず。地味でも長く続けることで、自分も世間も被災地の苦労を忘れないようにしたい」との三浦裕喜さん（osar代表）の言葉に、参加者も観客も大きくうなづいていました。

